



レース鳩の最高賞

令和3年度日本エースピジョン賞



19XY00146 “タイム・レジェンド21”
BC ♂ 上野栄一鳩舎作翔

21年春ニュー近畿連盟Rg 2,804羽中 総合29位入賞率:0.01034
ニュー近畿連盟地区N1,602羽中 総合20位入賞率:0.01248
ニュー近畿連盟桜花賞 365羽中 総合3位入賞率:0.00822

合計入賞率 | **0.03104**

生まれ

生年月日…… 19年4月10日
順番…… 2番仔

鳩体

- ・大きさ……中
- ・体型……普通
- ・主翼の形状……キレあり
- ・腰の厚み……普通
- ・筋肉……普通
- ・ベスト時の重さ……軽い
- ・眼……柿
- ・バランス……前のめり
- ・性格……おとなしい

作出の意図

- ・距離適性…… 400K~1000K
- ・展開…… 分速1200~1300m台
- ・タイプ…… 安定型



*令和3年度ベルギー王立愛鳩家協会会長賞連盟1位
シルバーエクセレントビジョン認定

- 17XY03445 B 上野栄一作 種鳩
- “オード・ブラウェ” 04KA32692 B 福田佰和作
直系/令和3年度東日本稚内GN総合優勝
- B02-6175580 B フロール・フェルホルト作
- 01KA41567 B 中田幸雄作
(“デン・ボルドー”×99年八郷・国際親善500K優勝の“INつくばね”)×
フーベン父子作(南アフリカミリオンダラーレース優勝×2位)
- 16XY00120 B 上野作
- 上記“オード・ブラウェ”
- 08XX00357 B 上野作
源鳩“SMAC”(プールジュン8位×
ノエル・ペイレン作・リモージュN優勝の全姉妹)の孫
直仔/大和連盟300K総合優勝&地区品評会スーパーCHクラス一席他
- “女孤” 15XY02219 DC 上野栄一作翔
- 平成28年度ベルギー王立愛鳩家協会会長賞近畿地区1位
大和連盟地区N600K総合2位、桜花賞1000K総合2位
- “ダルビシュ” B09-9105248 宮下博作
- “主水”(クリス・ヘベレクト作同士の直仔)×
- “ユカリ”(“ミッシェル”の直仔×クリス・ヘベレクト作の娘)
- “ジャル010” 10XX00010 DC 上野作
全兄弟の直仔/大和連盟500K総合優勝他
- “ル・ジャルナック” B99-9084364 BC
ウィリー・クレルボー作翔 上野鳩舎源鳩
ジャルナックSN3位 カルトースの“デン・アス”の直系
- “ラ・002” B04-4176002 DC
マルセル・ファンデナベール作
“ド・スーパー”(05年ダックスIN2位、03年ベルピニャンN3位、
02年ナルボンヌN7位、ベジエN10位)の娘

令和3年度 日本エースピジョン賞ベストテン発表!

賞全国1位の 畿連盟・なにわ連合会)



となる「日本一のレース鳩」誕生——！

勝という超銘鳩を誕生させたことで注目を浴びた上野栄一鳩舎(なにわ)。そのエースピジョンメーカーが、つは、前述のベルギー王立愛鳩家協会会長賞近畿地区1位鳩の直仔。2代連続の栄光である。一方、上野鳩舎がこと！協会三大最高賞初受賞だという同鳩舎の全国デビューは華々しいものとなった！

連合会から21年ぶりの 「日本一のレース鳩」

日本鳩レース界が隆盛を極めた笹川良一会長時代から森田浩光会長時代に移り変わった92年——新時代の象徴として誕生したのが「日本エースピジョン賞(以下日本AP賞)」である。Rg(公称400K以上)、地区N(公称600K以上)で各5%内入賞、桜花賞(公称800K以上)あるいはGN(公称1000K以上)で10%内入賞という、会長賞、総理大臣賞のようなスペシャリストではなく、オールラウンダー——ゼネラリストを証するタイトルだ。「距離適性」「血統」というブラッドスポーツの概念をも覆すような規程から、同賞は「レース鳩の最高賞」と言っても過言ではない。

さらに見方によつては「全距離で強い」という「究極のレース鳩」を追求した「日本AP賞」は、3レースの合計入賞率の低い順からランキングされ、授賞範囲は上位10羽だ。しかし前述のように背徳的な規程であるため、毎年全国で約10万羽がこの賞レースに参戦しているものの、「入賞率決戦」という舞台上に立てるレースは20羽に満たず、時にはベストテンが揃わないことさえある。

しかし令和3年度は日本AP賞の授賞条件をクリアし、当協会に申請が届いたのは20羽！近年稀にみる



作翔者・上野栄一鳩舎(なにわ連合会)のプロフィール

- ★レース歴/再開21年
- ★鳩舎規模/種鳩6坪50羽 選手鳩6坪100羽
- ★主力系統/ノエル・ペーレン系、カーレンス系、宮下輸入系他
- ★代表翔歴/平成28年度KBDB会長賞近畿地区1位 400K~1000K総合優勝、会長賞

大豊作となった。17年以來の「10%」以下が授賞のボーダーとなる中、全国1位は西日本鳩レース界から誕生。Rgと地区Nでそれぞれ1%、台、桜花賞では1%内に入賞を収め、3レース合わせて唯一の3%台——計「0・03104」をマークした上野栄一鳩舎(なにわ) 作翔の「19XY00146」が選出された。ニュー近畿連盟として初、作翔者が所属する「なにわ連合会」としては、吉村竹恒鳩舎の「ロマン無双II」以来2羽目の「日本一のレース鳩」である。

本筋の3柱のうち

2系統で形成！

作翔者の上野鳩舎にとつて、協会三大最高賞の受賞は初のことだ。同鳩舎は、小学生の頃から鳩飼育をはじめ、高校卒業後に就職のため中断すると、40歳から地元・兵庫県尼崎市内で再開。そもそも師事していた片山兄弟、そして中距離の強豪・長島祐二氏との邂逅によつて総合優入賞を繰り返し、あれよ、あれよという間にトップレースマンの地位を確立する。とりわけ当日レースが十八番で、15年には300K、500K、700Kの3レースで総合優勝したこともある。実力派だ。また16年にKBDB会長賞近畿地区1位、20年には経年だが桜花賞と春Rgでダブル総合優勝を果した超銘鳩までも生み出しており、全国デビューは時間の問題だったといつて過言ではない。

「約束の時」をもたらした全国1位鳩「19XY00146」は、「19年生まれ」の成鳩で、誕生日は「4月10日」の「2番仔」。性別は「♂」だ。鳩体は、大きさが「中」で体型、腰の厚み、筋肉は「キレあり」で、主翼の形状は「キレあり」である。バランスは「前

令和3年度 日本エースピジョ 作翔者・上野栄一鳩舎(ニュー近

なにわ連合会21年ぶり&ニュー近畿連盟初

16年にベルギー王立愛鳩家協会会長賞近畿地区1位、20年には経年だが桜花賞と春Rgでダブル総合優
いに「日本一のレース鳩」を生み出した！ しかも日本エースピジョン賞全国1位に輝いた「19XY00146」
所属するなにわ連合会では「21」年ぶりだが、20年に移籍したニュー近畿連盟で同賞の全国1位は史上初の

のめり」で、性格は「おとなしい」とい
うのが、上野鳩舎の見立てだ。もしこ
れに付け加えるとしたら、中距離の
スペシャリストである同鳩舎とあつ
て、スピードバード特有の「発達した
胸筋」と過酷なルートで培われた「こ
れぞ、近畿のトリ」といわしめるよう
な強靱な骨格を持ち合わせていると
いったところだろう。

血統は前述のメインレース総合優
勝2回の超銘鳩「タイム・K」とは全
く別物で、むしろ上野鳩舎を前述の中
距離のスペシャリストに仕立てた本
筋中の本筋だ。「ナシヨナルI(「*プ
ルジュン優勝」の直仔「ズトリー」
など「3本柱」のうち2本——父方は
「SMAC」、母方には「ル・ジャルナツ
ク」の血がそれぞれ流れている。「SM
AC」は、ブルジュン8位の「デン2
00」とペイレノ作(*91年リモージュ
N優勝鳩の全妹)の配合で作られたプ
リーダー。後者(*ペイレノ)の異母兄
弟「エル」からは、八郷国際鳩舎の
優勝鳩が3羽(99年、07年、08年)誕生
していることは有名な話だ。一方の
「ル・ジャルナツク」は、ジャルナツク
SN3位を取めたCHで、カルトース
の基礎カップル「オードズワルテ」×
「ポルドーチェ」の孫であり、また「ド
リモージュ」の異母兄弟である「デン
・アス」(*93年KBD B長距離ナシヨナ
ルAP賞4位)の曾孫。09年に日本人
で初めてベルギーN優勝を果たした

宮下博鳩舎のメインリーダーを
担ったことで有名だが、10年からはな
んと上野鳩舎の種鳩に加わっている。
なお同じくカルトース系でマルセル・
ファンデナベールの最高傑作にして、
ベルギーNレースベストテン4回の
神鳩「ド・スーパ」の娘にしてこ
ちらも元・宮下鳩舎種鳩の「ブラ・0
02」と「ゴールデンカップル」を形成し、
上野鳩舎に数々の優入賞鳩を輩出
する「全国1位鳩」「19XY0014
6」もこの配合「パターン」での成果だ。

**ハイブリッドであるが
AP&CHメーカーの塊！**

また父方には本年度の東日本種内
GN総合優勝鳩を生み出した「ブイー
ネケ5000」(*99年オリンピアード
中距離部門代表)の父方祖母「ブル
ジュスケ」の筋と03年に形成者・中田
幸雄鳩舎を日本最優秀鳩舎賞へと導
いたヤンセン系の「デンポルドー」(*
ポルドーN優勝)の近親系で作られ
た「オード・ブラウエ」と源鳩「SM A
C」のベストパートナーを務めたキ
ー・ボスアの20回入賞のCH「XEN
A」。母方はピリオネア「アルマンド」
などのオーナー・シンウエイ氏が所有
する「グアイク」(*10年KBD B長距離
ナシヨナルAP賞1位)を生み出した
「ヘレクト」の源鳩の1羽「ビヨルン」の
他、宮下鳩舎の基礎鳩の1羽「ミッシェ
ル」(*モントーバンN28位)の血が脈

を打っており、組み込まれているDN
Aは多種多様となっている。本年度の
「日本一のレース鳩」は、パーツで見
た場合、「オード・ブラウエ」、「カル
トース」、「ヘレクト」は、近親の強い
素材となっているものの配合的には
ハイブリッドといったところだ。とは
いえ母親は16年度のKBD B会長賞
近畿地区1位鳩——「ブラッドスポ
ーツ」の法則の1つ「CHからCHが生ま
れる」を見事に体現している上、「19 X
Y00146」を形成する数々の銘血
からはベルギーのN優勝だけでなく、
「バイクラス」なAPやオリンピアード
の代表鳩が多数生み出されており、
血統の成果であることは間違いない。

ところで「ピジョンスポーツの世界
には縁で紡がれるエピソードが時
折ある。上野鳩舎は子供の頃、生粋の
野球少年で、応援していたのはもちろ
ん地元「阪神」ではなく、ことも
あろうか宿敵の巨人。当時のエース・
高橋三選手の大ファンで、同選手の
背番号である「21」は上野鳩舎にとつ
てお気に入りの数字だったようだ。
そして今回の全国1位は、不思議な
ことに地元鳩レース界で「21」年ぶり、
同鳩舎自身、今年で再開「21」年目。
このシンクロニシティともいふべき現
象を受け、本年度の「日本一のレー
ス鳩」には「タイム・レジェンド21」
という上野鳩舎の「ゾウルナンバー」
を交えた名が付けられた。



20FF01011 BC ♂ 長谷川 傑鳩舎作翔
 21年春新潟中央連盟Rg 637羽中総合8位
 入賞率:0.01256
 新潟中央連盟地区N 419羽中総合9位
 入賞率:0.02148
 羽越ブロック連盟GN 86羽中連盟優勝
 入賞率:0.01163



20FF01011 長谷川 傑鳩舎
 (新潟中央連盟・日本海連合会)

合計入賞率 | **0.04567**



- *令和3年度ベルギー王立愛鳩家協会会長賞連盟1位
- ▶ 13FF02832 BC 長谷川傑作
 全兄弟/15年新潟中央連盟桜花賞総合9位他
 - ▶ 11DA46788 B 長谷川作 下記“佳南号”の直仔
 異父兄弟/15年羽越ブロック連盟GP総合4位
 - ▶ 12FF04218 BW 長谷川作
 “11羽根号”の直系×
 “佳南号”(シルバーエクセレントビジョン認定)
 - ▶ 全兄弟/15年羽越ブロック連盟GP総合4位
 - ▶ **15FF00186 B 長谷川傑作翔**
平成28年度日本エースビジョン賞全国6位
KBDB会長賞北部地区2位
 - ▶ 13DA34368 B 長谷川作 “平戸スーパーレディ”の直系
 全兄弟/14年羽越ブロック連盟GP総合10位、
 15年新潟中央連盟桜花賞総合2位
 - ▶ 13FF02823 BCW 長谷川作
 “11羽根号”直系×“バルセロナII”近親の娘

Rg/GNに至るまで全ての連盟レースを制し、国内最高賞「日本優秀鳩舎賞」でも所属する新潟中央連盟で「唯一」の受賞歴を誇る長谷川 傑鳩舎(日本海)。「日本A P賞」では16年に1羽誕生させており、これまでの軌跡から地元どころか、日本鳩レース界のトップレースマンといつて過言ではない。その「最強鳩舎」が今年、新たな「日本A P賞」を作り出した。しかも前回の順位を大きく上回る全国2位での受賞である。

親子二代連続受賞!
 3レース全シングルの「神鳩」

長谷川鳩舎にとって最新となるゼネラリスト「20FF01011」は、これまで同タイトルで該当10羽にも満たない規程レース全てでベストテンに入り、うちGNでは連盟優勝。KBDB会長賞でも連盟1位に選出され、もしかつてのように9地区にカテゴライズされていたとしてもダントツの1位であり、その規格外の翔歴からして、まさしく「神鳩」だ。

血統は主に師匠ともいべき柴野徹鳩舎(日本海)の2枚看板——97年羽越ブロック連盟平戸GN総合優勝の「平戸スーパーレディ」(D&Mタイスの「ゾロ」、リンブーアの「スーパーバイザー」、モスキート系、「グリーン系」と総合優勝鳩を多数輩出した銘種鳩「11羽根号」(「ローセンス系」)で構成。とりわけ後者である「11羽根号」の血量は非常に多い。この2筋は長谷川鳩舎の下で距離を問わず総合優入賞鳩を作り出しており、日本A P賞の本質——「ゼネラリスト」「メーカー」としてその才を大きく開花させている。しかも今回の受賞鳩の母親はなんと前回の日本A P賞。これを血統の勝利と言わずしてなんと言おうか。

「最強」長谷川鳩舎の最高傑作の誕生は然るべきだった。

“ナカノ・プリンセス”

20HB03930 B ♀ 山田真澄鳩舎作翔

21年春北関東連盟Rg 1,485羽中総合14位

入賞率:0.00943

北関東連盟地区N 470羽中総合13位

入賞率:0.02766

北関東連盟桜花賞 139羽中総合2位

入賞率:0.01439



20HB03930 山田真澄鳩舎
(北関東連盟・日東連合会)

合計入賞率 | 0.05148



*令和3年度ベルギー王立愛鳩家協会会長賞連盟1位

- ▶ 14HB19777 BW 山田真澄作
- ▶ “ナショナル・マーティ09” 08HB16277 B 山田作翔
- ▶ 09年北関東連盟地区N700K2,031羽中総合優勝
- ▶ “Y・ゴールデンレディ”(北関東連盟桜花賞総合2位・03年東日本CH総合2位“まつ”の孫)の直仔孫/下記“Y・ナショナルマーズ”
- ▶ 10HB13298 BCW 光山重幸作
- ▶ 矢口忠作翔(99年東日本CH総合4位)×“はる”(03年東日本CH総合優勝・ヤンセン系)
- ▶ 18HB13856 BCW 山田真澄作
- ▶ 19年春北関東連盟Rg 500K総合4位、400K総合24位
- ▶ “Y・ナショナルマーズ” 14HB19680 BC 山田作翔
- ▶ 15年東日本CH総合3位・北関東連盟桜花賞総合優勝
- ▶ 14HB19731 BW 山田作翔
- ▶ 16年東日本稚内GN総合20位 他
- ▶ 母/ヴァンホーヴ×ヤンセン

茨城県那珂(なか)市内にロフトを構える山田真澄鳩舎(日東)は、Ｚ・ゴールデンレディ」というヤンセン系の桜花賞総合2位鳩の誕生から、活躍の連鎖がスタートした。その直仔が09年に自鳩舎初となる総合優勝を達成すると、この種鳩の血は15年に東日本CHで総合3位に入賞し、かつ併催の桜花賞を制覇。今春はRg総合優勝、J.Cの総合4位という2羽のCHを誕生させる。うち後者の「20HB03930」は、Rgと地区Nで悠々と3%内、桜花賞で1%台

銘種鳩との邂逅で活躍の連鎖がスタート!

に入賞し「日本AP賞」の授賞資格をクリア。しかも全国3位の入賞率をマークしての受賞となった。かくして源鳩の血は、国内トップクラスのレーズ鳩を生み出すまでに至った。作翔者の山田鳩舎は、地区Nが終了した時点でこの1羽での「日本AP賞」を大いに意識してただけに、7月号での発表を見て、その喜びはひとしおだったに違いない。

さてKBDB会長連盟1位との二冠も果たした「20HB03930」は、活躍の連鎖を導いたＺ・ゴールデンレディ」の直仔「ナショナル・マーティ09」という前述の初総合優勝鳩の「直仔×曾孫」。他には史上初東日本CH総合ワンツリーの立役者「はる」(*KSロフト作翔)や同レースのスペシャリスト・矢口忠鳩舎の東日本CH総合4位「97HA03607」など、地元鳩界で実績を上げた「勝ち筋の塊であり、またヤンセン色の強い1羽となっている。

今回の成果により、山田鳩舎は全国デビューを果たしたわけだが、受賞鳩は、前述の通り立身出世の源鳩とその直仔である地区N総合優勝鳩の近親鳩。セオリー通りであれば種としてのブレイクも必至だ。そして間違いなく、系統は熟成されていることから、同鳩舎が更なる飛躍を遂げる日は近い……!



20HL02319 B ♂ 平田兄弟鳩舎作翔

21年春埼群連盟Rg 1,834羽中総合45位

入賞率:0.02454

埼群連盟地区N 887羽中総合 8位

入賞率:0.00902

埼群連盟桜花賞 318羽中総合 9位

入賞率:0.02830

*写真は平田栄一氏



20HL02319 平田兄弟鳩舎
(埼群連盟・関東中部連合会)

合計入賞率 | 0.06186



*令和3年度ベルギー王立愛鳩家協会会長賞連盟1位

- 16HL02000 B 平田兄弟作翔
- 埼群連盟300K総合優勝、Rg400K総合54位
- 全兄弟/埼群連盟地区N総合優勝、Rg300K総合5位
- 13HL00371 BC 平田兄弟作翔
- 埼群連盟エースビジョン賞1位、Rg、200K各総合2位
- 純ロードホフ系×プロス・ローザン"ナショナル"直系
- 11HL09536 B 平田兄弟作翔
- 埼群連盟地区N700K総合優勝
- 09HL03088(埼群連盟600K総合優勝の直仔)×08HL06528(ヤンセン系)
- 18HL05406 BP 曾根秀之作 平田兄弟使翔
- 坂東三地区ナショナル400K総合3位・菊花賞連盟優勝
- 13HA07374 BW 柳田雅幸作
- 09年JC総合9位の全弟×13年東日本CH総合8位の異父姉
- 全兄弟/北関東ブロック連盟五地区GP総合3位
- 09-111826 BC 曾根作 "019"の直系×埼群連盟AP賞
- 09年つくば国際鳩舎日本選手権500K3位、300K14位

想像を超えて誕生した
最強鳩舎の最高傑作

兄・栄一氏、弟・雅雄氏のタッグで組織された平田兄弟鳩舎(関東中部)同鳩舎は全距離での連盟制覇を果たし、レースマンの最高賞「日本優秀鳩舎」を受賞したこともある、いわば「最強」だ。今春、平田兄弟鳩舎は「日本優秀鳩舎賞」の規程をクリア。残念ながら受賞には至らなかったものの、その無念を晴らすべく、ナンバーワンポイントゲッターである「20HL02319」が、同鳩舎初となる「レース鳩の最高賞を射止めた。この1羽は、3000Kと4000Kの

連盟優勝鳩同士の直仔、また系統の実績からみて本命はRgだったとの由。しかし5番手に帰還したことにより、全レース投入された結果、地区Nで総合8位、GPでは大きく失速したものの、桜花賞では総合9位に入賞し、KDBB会長賞の連盟1位も獲得。そして日本AP賞では、見事全国4位に選出されたというわけだ。

今春の平田兄弟鳩舎において主役へと躍り出た「20HL02319」は、父方が自系統、母方が異血となっている。前者は、当たり配合として数々の総合優入賞鳩を輩出してきた「09HL03088×08HL06528」の筋。ヤンセン系色が非常に強いものの、母系に流れる「デ・ズッター」の血は距離が延びるよう、桜花賞での躍進はこれが効いたのではないかと、というのが作翔者の見解だ。一方の母方——異血は4分の1がヤンセン系で、他フェルホルトの「グイーネケ5000」が色濃く絡み、こちらも実績高き「勝ち筋」。ともあれ、ヤンセンの近親、そして系統の軌跡から切れ味を持つていうことはいままでもないが、父方、母方ともに連盟とはいえずAPが誕生している…。兄弟の思惑とは裏腹に「ゼネラリスト」への飛躍は然るべきといつて過言ではない。

ともあれ「最強平田兄弟鳩舎の最高傑作、ここに誕生！」



“ストロング・レディ”

20KA17712 BC ♂ 船川勝信鳩舎作翔

21年春埼玉連盟Rg 6,412羽中総合84位

入賞率:0.01310

埼玉連盟地区N 5,255羽中総合24位

入賞率:0.00457

埼玉連盟桜花賞1,485羽中総合73位

入賞率:0.04916



20KA17712 船川勝信鳩舎
(埼玉連盟・埼玉連合会)

合計入賞率 | 0.06683



*令和3年度会長賞 シルバー・エクセレント・ピジョン認定

- 12KA15656 B 齊藤博朋作翔
- 12年秋埼玉連盟Rg5,455羽中総合33位 同腹/同Rg総合優勝
- 05KA33386 (オールド環) BCW 齊藤作
- 直仔/200K、400K、600K各優勝
- “レジオナル36” 09KA12436 B 齊藤作翔
- 09年秋埼玉連盟Rg7,441羽中総合4位
- 08年秋同Rg総合5位 (下記04KA50199全姉の孫)の娘
- 13KA31543 BC 船川勝信作翔 300K4位
- 兄弟/埼玉連盟Rg500K総合10位他
- 08KA07009 BC 坪井政雄作
- NL97-1750837 (リンデン作) × NL97-1642255 (“シシー”の孫)
- 全姉の直仔/04KA50199 (04年秋FCIグランプリ優勝)
- B09-6130556 BC J&J・エンゲルス作翔
- 464K優勝他入賞20回以上
- “デン・アルジェントン”(05年アルジェントンN優勝)の直仔 × “マリーケ”の同系 & “ヴィットバイク”の直系

受賞鳩「20KA17712」は、秋のRgで2%内に入賞すると春のRgでも2%内入賞。地区Nでは0.5%内に入賞し、「会長賞」と「シル

バP賞に選出された。この成果により出席した「協会三天AP賞座談会」で「日本AP賞を受賞したい」と抱負を語った船川鳩舎だが、まさに有言実行！ 本年度の日

宣言通りの日本AP賞受賞！

鳩レースのメッカ「埼玉連盟」を舞台に船川勝信鳩舎(埼玉)は、中距離

のスペシャリストとして名をはせてきた。その最たるは、19年度に受賞した「会長賞全国1位」であろう。こ

バーエクセレントピジョン」の認定をゲット。桜花賞ではこのタイトルを意識しての参戦となり、船川鳩舎曰く「残念だった」とはいえ5%内に入賞し、日本AP賞の全国5位に選ばれたというわけである。

血統をひも解いてみると、父親は齊藤博朋鳩舎の選手鳩で、秋Rg総合優勝鳩の同腹。実は3代連続秋Rgのベスト5鳩を輩出した「勝ち筋」である。大本を辿れば、04年秋に八郷国際鳩舎で行われたFCIグランプリの優勝鳩を生み出し、かつその作出者・鳥海武鳩舎にてゴールデンカップルを担った「NL97-1750837 × NL97-1642255」とクラックヤンセン系だ。一方、母鳩は船川鳩舎作翔の300K4位鳩で、兄弟にRg総合10位がいる実績筋。エンゲルスの「デン・アルジェントン」を経由し、同鳩舎の基礎鳩「デン31」の血が強く脈を打っている他、船川鳩舎の「会長賞全国1位」にも流れるファンデナベールの「グライネン」の因子も搭載。前述の鳥海鳩舎の当たり配合も絡んでおり、結果的に受賞鳩は緩やかな近親交配によって作られている。

船川鳩舎において自身のスタイルを象徴した中距離系の塊であるものの、それでもゼネラリストへの飛躍を成し遂げた「新しい1歩」というべきレーサーであった！



20LB02633 B ♂ 秋元儀一鳩舎作翔

21年春千葉連盟Rg 1,869羽中総合28位

入賞率:0.01498

千葉連盟地区N 1,368羽中総合32位

入賞率:0.02339

千葉連盟桜花賞 347羽中総合10位

入賞率:0.02882



20LB02633 秋元儀一鳩舎
(千葉連盟・大千葉連合会)

合計入賞率 | 0.06719



- *令和3年度ベルギー王立愛鳩家協会会長賞連盟2位
- ↳ 14LH02279 BC 湯浅久二義作 直仔/地区N総合10位他
 - ↳ 13AU13099 デニス・モッシュャ作 ファブリー系
 - ↳ NL07-2069330 ファンデンパッシュ作 ヤンセン作の孫
 - ↳ 17LB09575 BW 秋元儀一作
 - 直仔/200K 5位、300K 10位他
 - ↳ B10-2022526 BC ギルバート・インパニス作
 - “ピクトリー” B04-2068403 BCW
 - 優勝 5回、2位 5回、3位 4回
 - 叔父の直系/平成29年度日本AP賞全国1位 & K8DB会長賞全国優勝
 - 平成26年度日本AP賞全国5位、9位
 - ↳ B08-2141654 BC
 - “ルイ”(ソワソン優勝3回他入賞多数)の娘
 - 全兄/“ムスタング”(ノヨン優勝6回)
 - ↳ 08MA04762 BCW 秋山元一作
 - スマル作×(“フィーネケ5000”直仔×娘)
 - 直仔/600K総合8位、700K、800K各総合5位

全国6位に選出されたのは、秋元儀一鳩舎(大千葉作翔)の「20LB02633」である。同鳩舎は連盟制覇20回を誇り、また日本優秀鳩舎賞の規程をクリアするなど、全距離に強いレースマンド。そして今回、見事日本AP賞全国6位を射止めた「20LB02633」は、規定3レースとも同鳩舎の2番手を担い、桜花賞では総合10位を射止めた「ゼネラリスト」である。

血統背景を見てみると、父親は鳩友・湯浅久二義鳩舎の作出鳩で、ファ

APファクトリーがもたらした
然るべき初受賞!

フリーとヤンセンの混成系。一方の母方はインパニス作と秋山元一鳩舎經由のスマル系、99年オリンピアード中距離部門代表鳩「フィーネケ5000」の近親で、とりわけ前者(※インパニス作)は秋元鳩舎の基礎鳩的存在だ。

その母方祖父である「B10・2022526」は、優勝5回の「ピクトリー」とノヨン優勝6回の「ムスタング」の全妹にして代表鳩「ルイ」の娘で作られている。インパニスという系統は、主にブラックシャドウ(※10年バルセロナ・ベルギーN優勝)の作翔者である有名なフランス・ヴェルダイエン經由で日本に紹介されたものの、判明しているのはブラバンの短距離CHが築いた実践系統ということだけで、系源は不明だ。しかし日本での実績からすると、少なからず「ピクトリー」の父親であるベルギーのナショナルAP賞1位鳩「プリンス」の全兄弟で7回優勝の「デン・アス」からは日本AP賞が複数誕生しており、K8DB会長賞と全国1位鳩の二冠を果たした「神鳩」までも誕生させている。同鳩舎では初の全国レベルの「ゼネラリスト」を誕生させたものの、実は然るべきだったというわけだ。

果たして21年——「APファクトリー」は、今度は秋元鳩舎の下で新たなそれを生み出した!



19LC02295 B ♀ KANDA LOFT作翔

21年春平成千葉連盟Rg 3,554羽中総合140位

入賞率:0.03939

平成千葉連盟地区N 2,887羽中総合 4位

入賞率:0.00139

平成千葉連盟桜花賞 788羽中総合 22位

入賞率:0.02792



*写真:神田隆夫氏



19LC02295 KANDA LOFT
(平成千葉連盟・鎌ヶ谷中央連合会)

合計入賞率 | **0.06870**



*令和3年度ベルギー王立愛鳩家協会会長賞連盟3位

- 17HB12387 B KANDA LOFT作
全兄弟ノ「スーパーゼウス」
(17年関東三ブロック連盟GP最高分速)
- B15-3058307 B ルク&ヒルデ・シウン作
全兄弟ノ「ノミ」(ボアチェN13,135羽中優勝)
- 15LC03930 B KANDA LOFT作
リブルヌN559位(ルク&ヒルデ・シウン作翔)×
神田ロークス系基礎鳩「マリアルイーザ」の娘
- 16LC03997 B KANDA LOFT作
「ダ・ヴィンチ」14LC03239 B KANDA LOFT作翔
平成27年度KBDB会長賞全国優勝
下記「リブレーザ」の直仔×
カルトースの「ド・リモージュ」近親の孫
- 「リブレーザ」11LC15112 B 神田隆夫作翔
平成24年度KBDB会長賞・南関東地区1位
デスプレンター、カルトース、ファンスピタル各系

全国7位は、KANDA LOFT (鎌ヶ谷中央) 作翔の「19LC02295」である。KANDA LOFTは日本優秀鳩全賞4回の神田隆夫氏とそこの子息で中距離のスペシャリストである。亮介氏の親子鷹による共同ロフトだ。15年にKBDB会長賞の全国優勝を成し遂げた同ロフトであるが、意外にも日本AP賞の受賞は初。主に管理を担当している亮介氏の前述の志向から、受賞鳩「19LC02295」も成績のピークが地区Nとなっている。

示された日欧APメーカーの威力！
これぞブラッドスポーツの体現者！

とはいえKANDA LOFTの見立てでは、距離適性は「700K」、「800K」、「1000K」。父親は17年に関東三ブロック連盟GPで最高分速を射止めた「スーパーゼウス」の全弟で、本筋である「クリスチャン系」や「ギド・ロークス系」の他、ベルギーN優勝鳩で億越えの評価をもつ「ギヤメロン」を生み出した「ジェロロン」(「ヘレマン」&「クエーテル」の基礎カップルの孫)やKBDB超長距離ナショナルAP賞3位の「ルーザック」を経由し、「ブレヒト」*カトリクス系、ヴァンリール系」という稀代のCHメーカーの血まで搭載。対して母鳩は12年に亮介氏がイタリヤから帰国し、親子鷹「再始動」という意味で名付けられたメモリアルバード「リブレーザ」にその孫でKBDB会長賞全国優勝鳩の「ダ・ヴィンチ」をクロスした近親種鳩だ。系統的にみるとデスプレンター、ガイネ・ペーターズといったスピード系色が強いものの、距離が延びるカルトース系やファンスピタル系も絡んでいる。ともあれ両親ともにゼネラリストを生み出す可能性を十分秘めた血統構成であり、またどちらもスーパーなAPを生み出してきた銘血。

鳩レースとはブラッドスポーツである。KANDA LOFT初の日本AP賞は「その」エビデンサー(証明者)であることに異論はない！

令和3年度 日本エースピジョン賞ベストテン発表！

“Madonna Lily”

20VV06773 B ♀ 平川智一鳩舎作翔

21年春瀬戸内連盟Rg 714羽中総合18位

入賞率:0.02521

瀬戸内連盟地区N 451羽中総合17位

入賞率:0.03769

瀬戸内連盟桜花賞 128羽中総合優勝

入賞率:0.00781



20VV06773 平川智一鳩舎
(瀬戸内連盟・岡山中央連合会)

合計入賞率 | 0.07071



*令和3年度ベルギー王立愛鳩家協会会長賞連盟1位

- B15-6175226 アンドレ・ロードホフ作
- B13-6165328 ロードホフ作
- “036” (AP賞1位2回、4位) 全妹の孫「B08-9113692」×「B90-6471217 (ホフケンス系) × B89-6366758」の孫
- “ゲレチェ” B11-6025013 ロードホフ作翔
- 12年ゲレN3,415羽中優勝 他多数
- “トム” (06年連盟AP賞1位、05年同2位・“036”全妹の直仔) × 上記「B90-6471217 × B89-6366758 (ロウ・ウォーターズ作)」の孫
- NL17-1409835 ヤン・ホーイマンズ作
- NL16-16663539 ヤン・ホーイマンズ作
- “ハリー” (09年WHZB長距離NエースP賞1位他) × 下記“バーディ”の娘
- NL16-1663186 ヤン・ホーイマンズ作
- 上記“ハリー” (“プリクセム”の直仔 × “クライネ・ディルク”娘) × 上記“バーディ” (08年南アフリカミリアンダラーレース最優秀鳩)

中国鳩レース界からの日本AP賞受賞は、93年以来——28年ぶりである。歴史的快挙を果たしたのは、レス歴3年の平川智一鳩舎(岡山中央)。しかも桜花賞併催の中国ブロック連盟CHを制した1羽での受賞だ。

ヒストリーブレイカー「20VV06773」は、両親とも現在、ヨーロッパで最高クラスの評価を受ける“旬の銘血”が流れている。父親は“アントワープの皇帝”の異名をもつアンドレ・ロードホフの作出鳩で、ゲレN優勝鳩“ゲレチェ”の直仔だ。スー

インパクトはトップクラス！
世界の銘血が作り出した、新時代。

パーカッブル「B90-6471217 × B89-6366758」の「曾孫 × 曾孫」となっている一方で、父方は「B08-9113692」、母方は前述の「ゲレチェ」の父にして看板鳩「トム」をそれぞれ介し、ロードホフの基礎鳩ともいえるべき「036」(*3年連続AP賞)の両親(B97-6463999 × “ランボー”の直系)のインブリードにもなっている。

これに対し母鳩は現在、日本鳩レース界を席巻している超銘鳩“ハリー”の直仔掛けで、なおかつ南アフリカのワンロフトレース“ミリアンダラー”のAP賞1位“バーディ”(*ヤンセン系 × ファンルーン系)の「孫 × 娘」。作翔者の平川鳩舎曰く、自鳩舎の選手鳩における鉄板式「近親 × 近親」——メンデルの法則でいう「大雑種を意識して配合したとのことだ。とはいえ、“ハリー”の血統を掘り下げてみれば、両親ともにファンダイクの源鳩“ランボー”の血が共通に流れており、緩やかな異種同系交配にもなっている。つまり覚醒の伏線は複数敷かれているというわけだ。

全国8位とはいえ、翔歴、血統からしてインパクトは今回の日本AP賞においてトップクラスであることはいわずもがな。このスーパーCHの誕生により、平川智一鳩舎は華々しく全国デビューを果たした！



“アヤハル・ハイブリッド”
20XA11014 BW ♂ 古里治彦鳩舎作翔
 21年春ニュー近畿連盟Rg 2,804羽中総合11位
 入賞率:0.00392
 ニュー近畿連盟地区N 1,602羽中総合16位
 入賞率:0.00999
 ニュー近畿連盟桜花賞 365羽中総合25位
 入賞率:0.06849



20XA11014 古里治彦鳩舎
(ニュー近畿連盟・京都雅連合会)

合計入賞率 | **0.08240**



- 18XA11033 BW 古里治彦作翔
- 18年秋ニュー近畿連盟入善300K総合2位
- B13-6310593 BW エンゲルス作
- “デン・アルジェントン”(05年アルジェントンN優勝)の直仔×
 (“デン178”×オリンピックアード中距離部門代表“マリーゲ”娘)
- “マジックガール”B15-6117730 BC ヨセフ・ドウィルター作翔
- アルジェントン、ブルジュ、シャトロー各入賞他
- スーパ優勝(“カースプール”重近親)の娘
- 16XA09899 BCW 古里治彦作
- 全兄弟の直仔/19年春ニュー近畿連盟地区N総合6位、9位
- “源鳩005”02XA00005 BCP 松尾勝利作
- ランブル作×カルトース系
- 全兄弟/“マジック・ナルボンヌ”(98年ナルボンヌN2位)
- 孫/21年ニュー近畿連盟Rg総合3位
- 15XA05411 BC 朝田忠則作 古里使翔
- 16年春ニュー近畿連盟Rg総合優勝
- 同系/令和元年度日本エースビジョン賞全国3位

同鳩舎2羽目、実質連続受賞を
 もたらした「20XA11014」は、
 前回の全国3位鳩「アヤハル・ヴィ
 ー」の1羽が「日本AP賞」に輝
 いた。

古里治彦鳩舎(京都雅)は、18
 年に総合表彰式に出席したことで、
 協会タイトルを大きく意識するよ
 うになった。その熱意はすぐに反映
 され、19年に日本AP賞に選出。
 憧れの壇上に立った。そして本年度
 レースマンの最高賞「日本優秀鳩
 舎賞」を手にした上、ポイントゲッ
 ターの1羽が「日本AP賞」に輝
 いた。

同系で2羽目の日本AP賞!
 ロスジェネの逆襲は続く……!

クトリア号”を生み出した「ブルー
 ス”(AP賞2位・ヴィクトル)の娘)
 ×ベルクモース作(“ドンケレ
 18”の直仔×“スプリント”の娘)
 の血が流れている他、本年度の日
 本AP賞全国5位鳩にも流れるエン
 ゲルスの“デン・アルジェントン”
 を絡めての“デン31”、ピリオネア
 の“ニューキム”を生み出した“カー
 スプール”の銘血がそれぞれ力強
 く脈打っている。また今回は、古里
 鳩舎の源鳩「005」というランブル
 の代表鳩「マジック・ナルボンヌ」
 の全兄弟の孫鳩にもあたり、オリ
 ジナルラインへの手応えを大きく
 掴んだはずだ。ちなみにこの「00
 5」には、今回の全国1位と全国7
 位鳩に絡んでいるカルトースの基礎
 カップル「オードスワルテ」×「ポ
 ルドーチェ」の因子も搭載されて
 いることを追記しておこう。

一見、輸入系の塊であるものの、
 受賞鳩は少なからずRg総合優勝
 鳩の孫であり、また系統的に地元
 鳩レース界で実績を上げたもの。
 ヨーロッパの旬の銘血を見事に「実
 践系統」へと昇華させている。古里
 鳩舎はロスジェネレーション世代
 のレースマン。本年度は全日本ゼネ
 ラルCH賞にも選出され、協会三
 大最高賞全てを獲得した。「ロスジェ
 ネの逆襲」はまだまだ続きそうだ。

令和3年度 日本エースビジョン賞ベストテン発表!



“マリン・ラッキーエース”

20HA14832 BC ♀ 飛田輝明鳩舎作翔

21年春茨城連盟Rg 4,910羽中総合136位

入賞率:0.02770

茨城連盟地区N3,684羽中総合153位

入賞率:0.04153

東日本GN 824羽中連盟 12位

入賞率:0.01456



20HA14832 飛田輝明鳩舎
(茨城連盟・茨城北連合会)

合計入賞率 | 0.08379



- 17HA17977 BC 松浦邦彦作
- 10HA08049 B 一文字ロフト作
- 06年バルセロナIN優勝“バルセロナ・アルド”×
- 08年バルセロナIN優勝“バルセロナ・キム”
- 12HB02170 DC 松浦作翔
- 14年東日本GN2,268羽中総合9位
- “稚内モンスター”(98年東日本稚内GN総合優勝)の直系
- 19HA07090 BC 飛田輝明作
- “マリン・グランプリキング” BC 飛田作翔
- 19年茨城連盟GP700K総合優勝
- (“フライツァー”の直仔×ルフェックNPO優勝)×
- 300K総合優勝(東日本CH総合8位の娘・“ジッター85”直系)
- “マリン・トップエース”18HA14063 BCW 飛田作翔
- 令和元年日本エースビジョン賞全国1位
- KBDB会長賞連盟1位
- カイパー兄弟基礎カップルの重近親
- 従姉/平成27年度日本エースビジョン賞全国8位

飛び筋の開拓に成功!
同系から3羽目の日本A P賞誕生!

日本A P賞最後のイスには、19年度の全国1位——飛田輝明鳩舎(茨城北)作翔の「20HA14832」が滑り込んだ。自身にとって4羽目となるゼネラリストは、1羽目(※15年)と同じくGNでの受賞。しかも総合で21位を射止めている。

父親は関東三天長距離レースのスペシャリスト、松浦邦彦鳩舎の作出鳩で、19年に日本A P賞全国9位鳩を誕生させたバルセロナ・アルドの直仔に95年度の「総理大臣賞全国優勝(※東日本稚内GN総合10位)」の同系で

東日本稚内GN総合9位のCHをクロス。これには98年の東日本稚内GN総合優勝鳩の血も流れており、系統的にはまさにGN仕様だ。

一方の母親は、未来のゴールデンカップルになることを期待した配合——「マリン・グランプリキング」×「マリン・トップエース」の娘。19年に「日本優秀鳩舎賞」へと導いたナンバーワン、ツールのポイントゲッター同士の組み合わせでもある。

前者の「マリン・グランプリキング」は、「フライツァー」と同鳩舎の本筋にして源鳩の1羽「ジッター85」の直系。後者の日本A P賞全国1位鳩「マリン・トップエース」は、カイパー兄弟の基礎カップル「ゾーン・スピン」×「869」※「853」ウエッジエズの娘&重近親の直系であり、また前述の1羽目の従弟だ。ともあれ前回の「日本一のレース鳩」は種としても早くに成果を上げたというわけである。カップルとしての期待は基より、これぞ、まさしくフラッドスポーツの醍醐味だ。

飛田鳩舎は、本年度も日本優秀鳩舎賞に選出された上、全日本ゼネラルCH賞を獲得。自身初の協会三大最高賞コンプリートを達成し、今なお進化をやめない。そしてその原動力は、日本トップクラスのゼネラリストを生み出す「血」を発掘できたからだといつて過言ではないだろう。